

# 畠山衆議院議員が国政報告

日本共産党の畠山和也衆議院議員は、6月9日網走に入り、午前9時30分からベーシック橋北店前で街頭演説を行い、午前10時からエコーセンターで国政報告会を行いました。

国政報告会には、午前中にもかかわらず開会の10時には参加者が会場いっぱいになり、60名になりました。開



国会報告する畠山衆議員

会にあたって松浦敏司党市委員長から「これから行われる参院選は、野党共闘が大きく進んで日本の政治が変わる展望が見えてきました」とあいさつをしました。畠山衆議員は、3年前にアベノミクスと違って参院選で多数を得たが、やったことは「特定秘密保護法」

の強行採決、1年半前の衆院選でもアベノミクスと違って選挙をしたが、やったことは昨年9月の「安保法制（戦争法）」の強行採決だった。と述べたうえで「言うこととやることが全く違う。今回の参院選もアベノミクスで選挙をするというが、多数を得れば憲法を「明文改憲」するのが狙いです。しかし、今回の選挙はこれまでとは違い、定数1名の32選挙区すべてで野党共闘の統一候補で戦うという戦後政治史上初めての戦いです」と述べ、アベノミクスで利益を得たのは大企業と大金持ちで貧困と格差は拡大するばかり、子育てと医療など社会保障をないがしろに誰がしたのかと厳しく批判しました。



奮闘する森つねと予定候補

今週の14日から23日まで第2回定例会が開かれますが、議会後半の21日、23日まで一般質問となります。私は、今回は4番目になるので21日の午前と午後にもたがるのではないかと思います。時間があまる方は本会議場に傍聴に来て下さい。さて22日の参議院選の公示日に議会の終盤を迎えます。補正予算の案件も多いのですが、特に今年、「国の事業費の減額に伴い」事業費の減額補正が多い事です。熊本地震によって国の予算の変更というのも当然あると思いますが、地元に必要な事業として計画し、国の補正の目的もあって事業計画を立てたのに残念なことです。総務・経済委員会の中で減額になった理由と今後の影響についても議論したいと思えます。

## 松浦 奮闘メモ

参加者は「分かりやすい話で力をもらった参院選がんばろう」と元気よく会場を後にしました。

争が始まりました。少し日差しが差し込みましたが、父母たちはラックや毛布、手袋などがガツチリと着こんでいました。「アソコにいるのがうちの子よ」の声が聞こえそう。な、いつもの運動会をひと時、見せていただきました。



## 街 スポットライト



寒さに負けずに父母・祖父母も応援

## 流氷

▼数か月前、候補が網走に来て街頭演説をするというので出かけた。市の図書館で用を済ませて、と眠っているうちに演説の声が聞こえ始めた。あわてて外へ出ようとした時、ふと見る

と図書館の窓際のイスに座った何人もの人が「おや？」という表情で外の声に耳傾けている。じつと聞き入っている若い人の姿も。▼そんなことを思い出したのは先日よくとおる声で国会報告をする畠山和也議員の話を知り、「今もどこかの窓際でこの話を聞いている人がいる」と。▼いつとき「ky」という言葉が流行った。「空気がよめない」ことを揶揄する言葉だったが、しばらくして「あえて空気を読まない」と、声を出し始めた人たちが話題になった。戦争法や原発に反対して若い人たちがママの会が毎週、日本のどこかで若い人らしいユニークなデモや集会をひらくようになってきたのもほぼ同時期。国境なき記者団が発表する報道の自由度が世界180ヶ国で日本が61位から72位へとさらに転落していく時期とも重なる。▼メディアが国の意向を付度して情報を流すと言われ始め、それではいけないと動き出したジャーナリストや市民たち。▼「内心の自由」とは心のなかで何を思ってもいいということではなく自分の考えていることを自由に語ってもいい、ということ、と言ったのは誰だっけ？心をひらいて語れる場を求めている人がたくさんいる、とあの時図書館のイスに座って耳傾けていた人の姿を思い出す。(た)